

展示内容

「歴史から見た六郷堀・七郷堀」 仙台市博物館企画

広瀬川から取水される六郷堀と七郷堀は、さまざまな経緯をたどりながら、今も仙台平野をうるおし続けています。仙台平野のなかで六郷堀と七郷堀がたどってきた変遷や歴史的役割を、『仙台市史』など新しい研究成果をもとにして紹介します。

「堀のある暮らし—RE:プロジェクトの取材から—」 RE:プロジェクト事務局 仙台市、(公財)仙台市市民文化事業団 企画

かつて、堀は暮らしの中にありました。洗い物をしたり、馬を休ませたり、フナやドジョウを採ったり。RE:プロジェクトの取材の中で住民の皆さんが語ってくださった「堀が当たり前にあった暮らし」に垣間見える自然とともにある暮らしの豊かさを、写真と言葉でご紹介します。

「六郷堀・七郷堀魅力マップをつくろう！」 六・七郷堀サポーターズ企画

今まで「六・七郷堀サポーターズ」が歩いて見つけた六郷堀・七郷堀の魅力ポイントを地図にまとめました。あなたの知っている魅力ポイントも書き加えて、みんなで六郷堀・七郷堀魅力マップを完成させよう！

関連講座の内容

講話「ほり起こし仙台平野 —六郷堀と七郷堀のうつりかわり—」



日時：8月30日(日)10時～
会場：若林区中央市民センター 2階セミナー室
講師：仙台市博物館学芸普及室室長 菅野 正道 氏
対象・定員 どなたでも 30人(先着)

聞いてみよう 「暮らしの中にある堀」

六郷堀・七郷堀は暮らしの中でどのように使われてきたのでしょうか。住民の方を招いてお話を伺います。

日時：9月6日(日)13時～
会場：若林区中央市民センター セミナー室
聞き手：フリーライター西大立目祥子氏
申込不要直接会場へ

堀なか歩き

六・七郷堀サポーターズの案内で七郷堀を散策します。

日時：9月13日(日)10時～
集合場所：若林区文化センター1階エントランスホール
コース：「若林区役所～愛宕堰取水ゲートまで」
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員：30人(先着)
申込：8月11日(火)10時～電話または窓口へ
※ 長靴を履いて、汚れてもいい服装でご参加ください。
※ 水分補給のため、飲み物をお持ちください
※ 堀に降りる時に脚立を使用します。

活動紹介

RE:プロジェクトは、東日本大震災で大きな被害を受けた仙台市沿岸部を中心に、そこに暮らしてきた方々から地域に根付いてきた暮らしの話を聞き、地域の記憶をつなぐ取り組みです。震災によって失われてしまうかもしれない地域文化をさまざまな形で伝えています。(主催：仙台市、(公財)仙台市市民文化事業団)

活動紹介

「六・七郷堀サポーターズ」は堀の役割や大切さ、魅力を広く伝えるため、平成18年度に発足しました。六・七郷堀の歴史や環境・景観、暮らしとの関わりなどを調べています。スタッフは年齢も職業もさまざまですが、毎月1回集まって、堀を観察したり、堀の大切さや魅力を伝える方法をみんなで考えています。ご興味のある方、一緒に活動しませんか？お申込みは若林区役所4階まちづくり推進課へ！

詳しくは若林区中央市民センターへお問い合わせください。

申込時にお伺いいたします個人情報は、講座の連絡以外には使用致しません。